

一年の幸を願って ～おせち料理～

お正月には欠かせないおせち料理。おせち料理には、新年の幸せへの願いが込められています。材料や内容も語呂合わせで縁起を担ぐものが多いので、親子で語呂合わせや意味を楽しんでみてはいかがでしょうか。

おせち料理ってなあに？

おせち料理は、もともとはお正月や五節句など年に数回ある重要な節目に神様にお供えする特別な料理でしたが、しだいに正月料理を指すようになりました。神様にお供えしたものを後から家族でいただくことで、一年の幸せを願います。

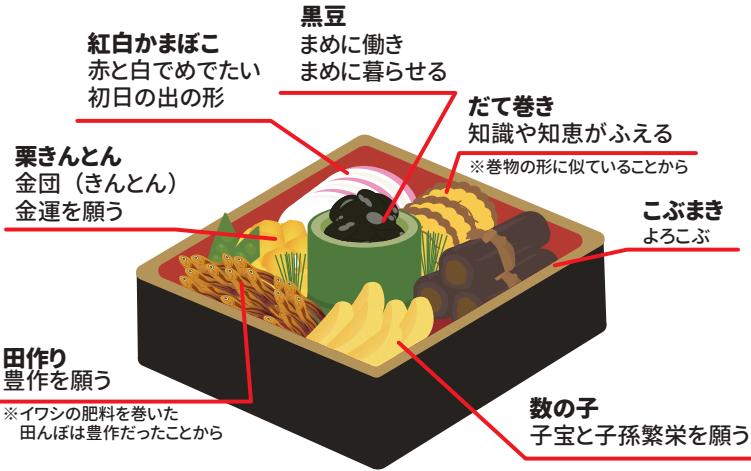
日持ちする料理が多い理由は？

日持ちがするものや、冷めてもおいしい料理を中心のおせち料理には、次のような意味があります。

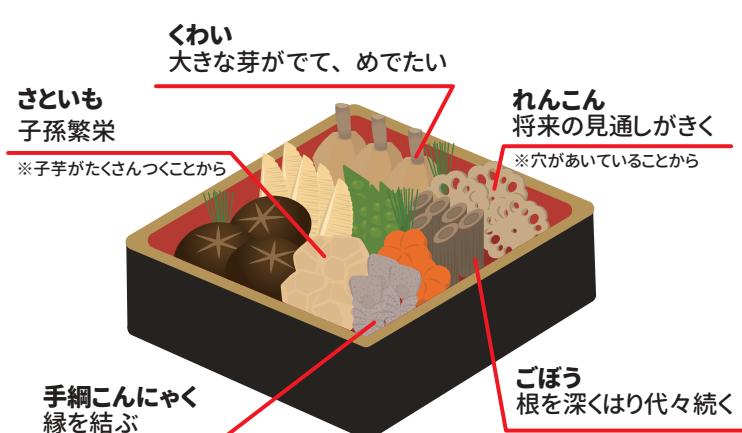
- ・新年の福徳や豊作をもたらしてくれる年神様が滞在する期間、煮炊きを慎むことで神様を敬う
- ・台所の火を司る荒神様にゆっくり休んでいただく
- ・料理を作る人が休めるようにする

おせち料理のいわれ

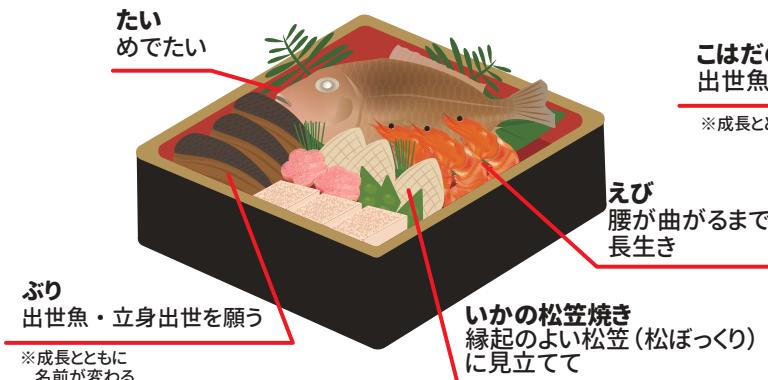
「一の重」



「三の重」



「二の重」



「四の重」

